

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
斎宮跡周辺地区

平成31年2月

三重県明和町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	イベント(まつり)の参加人数	人/年	7,400	8,800	9,950	確定 ● 見込み ○	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	高質空間の形成と新たな施設である地域交流センターの完成に伴い、斎宮跡周辺地区を一体利用したイベント規模の拡大や新たなイベント開催により、イベント参加者数増加に大きく貢献した。
指標2	ガイドボランティアの登録人数	人	24	48	45	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし	48	H30年12月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の推進による来訪者の増加に伴い、斎宮跡に愛着と親しみが生まれ、地域住民からガイドボランティアへの新規加入が図られた。ガイドボランティアのお試し体験やおもてなし講座等による受入体制の充実を図っており、ガイドボランティア増員の機運の醸成に大きく貢献している。
指標3	来館者数	人/年	71,000	84,000	82,018	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし	78,878	H30年12月	△	草花の生育不良に伴い、メディアでの紹介が減少し、観光客が減少したため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	主要施設間の周遊方法として徒歩を推進している。そのため、天候や季節の草花の開花状況に大きく影響される。一方で、計画的な公園整備及び高質空間形成の事業推進に伴い、当該新設の設備が完成前と比較すると来館者数が増加しており、一定の評価ができる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	ガイドボランティアの総案内件数	件/年	3,741	/	5,000	確定 ● 見込み ●	/	/	4,968	H30年12月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市再生整備計画事業をはじめとした各種事業効果による来訪者の増加に伴う、ガイドボランティアによる来訪者の案内件数の増加に大きく貢献している。
その他の数値指標2	観光客入込客数	人/年	187,320	/	220,268	確定 ● 見込み ●	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画的な公園整備及び高質空間の形成の推進と地域交流センターの完成に加え、平成27年度の日本遺産認定、実物大復元建物3棟を含む「さいくろ平安の社」の完成も相乗効果となり、明和町の来訪者数は着実に増加傾向にある。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	受入体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生推進交付金事業(内閣府)による「ホスピタリティ人材育成事業」を活用し、地域住民とガイドボランティアを対象におもてなしのスキルアップ講座等を実施し、「おもてなしマニュアル」の作成や観光客へのアンケート調査を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもてなし講座等による人材育成と、ガイドボランティアと地域住民が参加することで共通認識を持ち郷土愛や連帯意識を向上することができた。その結果、新たに4人のガイドボランティアが誕生した。また、アンケート調査をガイドボランティアへフィードバックすることで、現状の把握とモチベーションアップにつながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドボランティアの増員は図られたが、高齢化による減少も深刻化している。ガイドボランティアに参加はしなくても、齋宮跡に愛着と親しみを持ち、郷土に誇りを持って来訪者をもてなそうとする地域住民も着実に増加している。そうした地域住民とガイドボランティアの交流(講座等)を通じて、年々増加する来訪者を受け入れる体制づくりを今後も継続して実施していく必要がある。</li> </ul>
	多言語誘導案内板の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的風致維持向上計画国際観光支援事業(国土交通省)による「多言語誘導案内板の設置事業」を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に史跡活用調査を実施し、平成25年に実施した調査と比較することで、事業において整備を行った多言語誘導案内板の連続性、回遊性の現状把握と整理分析を行った結果、齋宮跡内の移動やアクセス性の向上についての評価が2倍近く増え改善がみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的な維持管理計画に基づき、適正な整備と管理を行う。</li> <li>事業効果の分析、効果検証に基づき、史跡の活用とまちの魅力を堪能できる、今後のまちづくりに活かしていく必要がある。</li> </ul>
	齋宮跡地内を回遊するための散策マップの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者に向けて、整備に合わせた新たな回遊ルートの散策マップを作成するために、関係機関や町歩きイベント等にて実際に散策をし、散策マップの素案作りを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に散策したことで、来訪者の視点から散策マップの素材収集ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策マップを作成し、観光協会ホームページへの掲載や駅北口休憩所や齋宮跡地内の施設等に設置し、周知していく。</li> </ul>
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	地域ぐるみでの受入体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生推進交付金事業(内閣府)による「ホスピタリティ人材育成事業」を活用し、地域住民とガイドボランティアを対象におもてなしのスキルアップ講座等を実施し、「おもてなしマニュアル」の作成や観光客へのアンケート調査を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもてなし講座等による人材育成と、ガイドボランティアと地域住民が参加することで共通認識を持ち郷土愛や連帯意識を向上することができた。その結果、新たに4人のガイドボランティアが誕生した。また、アンケート調査をガイドボランティアへフィードバックすることで、現状の把握とモチベーションアップにつながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドボランティアの増員は図られたが、高齢化による減少も深刻化している。ガイドボランティアに参加はしなくても、齋宮跡に愛着と親しみを持ち、郷土に誇りを持って来訪者をもてなそうとする地域住民も着実に増加している。そうした地域住民とガイドボランティアの交流(講座等)を通じて、年々増加する来訪者を受け入れる体制づくりを今後も継続して実施していく必要がある。</li> </ul>
	回遊性の高いサイトミュージアムとしての高質空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>明和町歴史的風致維持向上計画に基づく次期都市再生整備計画事業において、齋宮跡周辺に点在する貴重な歴史的資源(観光資源)の整備と利便性の向上による回遊性の高いサイトミュージアムとしての高質空間の形成に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期都市再生整備計画事業を3ヶ年計画で実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡の活用とまちの魅力を堪能できる高質空間の改善、充実についての指針を定め、今後のまちづくりに活かしていく必要がある。</li> </ul>
	良質な生活環境整備の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>明和町歴史的風致維持向上計画に基づく次期都市再生整備計画事業において、地域住民の日常生活の維持だけでなく、史跡地内の冠水を防ぎ、来訪者への被害を解消し、高質空間の安全性を高めるために排水路整備による生活環境整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期都市再生整備計画事業を3ヶ年計画で実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡の活用とまちの魅力を堪能できる高質空間の改善、充実についての指針を定め、今後のまちづくりに活かしていく必要がある。</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告書)

さいくうあとしゅうへん  
齋宮跡周辺地区

みえけん めいわちょう  
三重県 明和町

平成31年2月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	三重県	市町村名	明和町	地区名	齋宮跡周辺地区	面積	215 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

**目標**  
 「齋宮跡」を核とした地域活性化と歴史・文化、観光資源を活かしたまちづくり  
 ・齋宮跡地区内外の町民が齋宮跡の魅力により一層感じ、郷土に対する愛着を持てるまちづくり  
 ・貴重な歴史的資産と豊かな自然環境を活かした高質空間の形成による、来訪者がまちの魅力を十分に堪能できるまちづくり

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 明和町の面積は40.92km<sup>2</sup>、人口は23,341人(平成24年4月1日現在)で、三重県の中央部を構成する伊勢平野の南部に位置し、北は伊勢湾に面し延長7.5kmの海岸線を有している。大部分が平野で、西には榑田川の分流である祓川、中央部を笹苗川、東を大堀川が南北に流れ、水田の広がる農業地域となっている。  
 本町は松阪市と伊勢市の中間に位置する立地条件から、近年住宅開発が進むなど土地利用の転換が見られ、一部には工業団地や大規模商業施設等が集積してきている。その一方で市街地は形成されておらず、住宅、商業、工業、農業等の土地利用が混在している。  
 齋宮には古代から中世にかけて、伊勢神宮に仕えるための齋王の御殿とその事務を取り扱う施設が置かれ、京都、伊勢神宮にとって重要な場所となっていた。齋王制度が廃止された後においても、参宮への街道が齋宮があった場所を横切り、伊勢神宮への参拝客によって賑わいを見せるなど、伊勢神宮との係わりが深い地域となっていた。「齋宮跡」は昭和54年に国史跡指定を受け、今でも発掘調査が続けられている。その発掘調査の過程において、幅約15mの区画道路で一辺120mに区画された、東西に7列、南北に4列の「方格地割」と呼ばれる基盤目状の都市的な区画跡が確認された。また、町内には多くの古墳が残っており、古墳群を形成している。  
 昭和55年3月に「史跡齋宮跡保存管理計画」、平成8年3月に「史跡齋宮跡整備基本構想」が策定され、それらに基づき、齋宮跡の保護、保存、整備が進められてきた。平成元年に齋宮歴史博物館、平成11年にいつきのみや歴史体験館といった、様々な学習や体験ができる施設が三重県により整備された。  
 平成24年6月6日に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、明和町歴史的風致維持向上計画が認定され、齋宮跡周辺地区を重点区域として歴史的風致の維持及び向上のための取り組みを進めている。

**課題**  
 齋宮跡は建物跡などの遺構が地下に埋まっていることから齋宮の実態をとらえ難く、その地に暮らす地域住民等にとって、愛着をもてていない。町内には国史跡齋宮跡のほか、坂本古墳群をはじめ多数の古墳群といった歴史的資源が点在しているが、それらを有機的に繋ぐ施設の整備が乏しく、貴重な多くの歴史的資源を上手く活かしてないことが課題である。そのため、全国はもとより、県内においてもその認知度が低い状態である。さらに、地区内を散策する上での休憩所、散策道等の整備が十分でなく、広い史跡内を回遊するための設備環境が不十分なため、観光は通過型がほとんどであることから、回遊性の高いネットワークの形成が必要である。  
 町内の趣の残る歴史的建造物等も十分な管理が行き届かず損傷しているものや取り壊されるものも見られ、徐々に減りつつある。ガードレールや各種標識柱等が史跡等の景観を阻害し、歴史的雰囲気損なっていることも課題となっている。  
 また、齋宮跡はあまり人の手が増えらるることなく地域住民に守られ受け継がれてきたため、生活環境整備が遅れている。特に台風や局地的な大雨には冠水し被害をもたらしている。文化財保護と地域住民の日常生活の維持や良好な環境整備の確保をどのように調和させていくかが課題である。  
 それらを一体的に整備し、歴史・文化、観光資源を活かした高質空間を形成することにより、町民や来訪者が齋宮の魅力を実感し、堪能できるまちづくりが求められている。

**将来ビジョン(中長期)**  
 第5次明和町総合計画(平成23年3月策定)ではまちの将来像を、歴史・文化と自然が輝き快適でところ豊かな「和のまち」の実現を掲げ、更に、次代を担う子どもたちに本町の貴重な歴史・文化と恵まれた自然を守り育て継承し、快適に暮らせる心あたたかいまちづくりを進めていくこととしている。特に齋宮跡を核としたまちづくりを展開し、快適な生活環境の形成と多くの町外の人々に訪れてもらうための施策の推進と、本町に残る文化財に住民が親しみを持ち郷土愛を深めるよう活用と啓発の実施を位置付けている。  
 明和町都市計画マスタープラン(平成23年3月改定)では、まちづくりの基本方針の一つを「自然・歴史・文化の保全・活用」とし、齋宮跡を歴史・文化拠点とし、齋宮跡一帯における施設、景観整備を位置付けている。更に、齋宮跡を文化財として保全と観光・活性化に向けた資源の活用を合わせて図っていくこととしている。  
 明和町観光振興計画(平成23年3月策定)では、将来像を「歴史と自然が彩るおもてなしのまち」とし、齋宮跡周辺の環境整備を展開し、癒しの空間づくりを行っていくこととしている。  
 史跡齋宮跡整備基本構想(平成8年3月策定)では、齋宮跡をサイトミュージアムとして一体的に整備していくことが位置付けられている。  
 明和町歴史的風致維持向上計画(平成24年6月6日認定)では、齋宮跡周辺地区を重点区域として向こう9年間で、歴史的風致の維持及び向上のための各事業を展開していくことが位置付けられている。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
イベント(まつり)の参加人数	人/年	毎年地区内で開催される地域住民参加を主目的としたまつりである十五夜観月会、齋宮浪漫まつり、追儺のまつり、齋宮梅まつりの4つのまつりの参加・来場者の総数	高質空間の形成により郷土に魅力を感じ愛着を持つ人が増え、イベント(まつり)の参加人数の増加になる。	7,400	8,800
ガイドボランティアの登録人数	人	齋宮跡ガイドボランティアの登録者の総数	事業を実施することにより、齋宮跡に愛着と親しみが生まれ、郷土に誇りを持って、来訪者をもてなそうとするガイドボランティアの増加になる。	24	48
来館者数	人/年	齋宮歴史博物館・いつきのみや歴史体験館の年間来館者の総数	回遊性の高い魅力ある高質空間の形成とアクセス性の向上を図ることにより来訪者の増加に繋がり、地区内の施設の来館者数の増加になる。	71,000	84,000

## 様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(斎宮跡の魅力により一層感じ、郷土に対する愛着を持てるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に憩い空間を提供するため、歴史的資源を史跡公園として整備する。また、地域住民相互・住民と来訪者との交流、斎宮跡に関する情報発信、来訪者への情報提供を目的とし、地域活性化の拠点となる地域交流センターを史跡公園(下園東区画広場)内に整備する。</li> <li>・幹線排水路の改修を行い、史跡地内の冠水を防ぐことで地域住民の被害を解消する。</li> <li>・斎宮跡関連建造物を整備するとともに周辺環境整備を行い、地域住民の歴史文化に対する意識の向上を図る。</li> <li>・地域住民を対象にした歴史・文化財・観光についての講座等を開催すると同時に、斎宮跡への愛着と親しみを持ち郷土に誇りを持って、来訪者をもてなすガイドボランティアの育成を行う。</li> </ul>	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園：坂本古墳公園、史跡公園(下園東区画広場)、史跡公園(稗戸広場)、史跡公園(斎宮跡歴史ロマン広場)、史跡公園(御館区画広場)、史跡公園(篠林区画広場)</li> <li>・高次都市施設(地域交流センター)：(仮称)斎宮跡地域交流センター</li> </ul> <p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造支援事業：基幹排水路等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業(効果促進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線排水路等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東部整備事業(柳原区画)(県)</li> <li>・史跡東部整備事業(古代伊勢道)(県)</li> <li>・史跡公園(区画道路東加座中央道)整備事業</li> <li>・史跡公園(区画道路下園・御館道)整備事業</li> <li>・史跡公園(西加座南区画広場)整備公有化事業</li> <li>・斎宮跡歴史観光講座事業</li> <li>・ガイドボランティア育成事業</li> </ul>
<p>整備方針2(高質空間の形成による、まちの魅力をも十分に堪能できるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資源を史跡公園として整備すると同時に、点在する歴史的資源や関連施設等を繋ぐ史跡公園内園路や歩道、サイン・案内板を景観に配慮しつつ整備し、地域住民および来訪者が安全で快適に斎宮跡地内を回遊できる環境を整備する。</li> <li>・道路等の周辺環境について、歴史的趣に配慮したガードレールや各種標識柱等の美装化を行う。</li> <li>・斎宮跡地区へのアクセスの利便性と安全性向上のための案内標識を幹線道路に整備する。</li> <li>・来訪者の利便性の向上と斎宮跡の玄関口としてのイメージアップを図るため、近鉄斎宮駅史跡公園口(北口)を開放するとともに、案内所等の施設を整備する。</li> <li>・史跡公園の維持管理のための管理機器等の収納庫等施設を周辺の景観に配慮して整備する。</li> <li>・散策回遊コースの新設・案内誘導サインの設置検討等回遊性の向上についての調査及び事業効果の分析・検証を行い、史跡の活用とよりまちの魅力をも堪能できる高質空間の形成を推進するとともに、今後のまちづくりに活かす。</li> <li>・伊勢街道沿いの歴史的な趣の残る建造物を対象に実態調査を実施し課題や保存方法等を整理する。</li> <li>・斎宮跡関連建造物を整備するとともに周辺環境整備を行い、ガイドボランティアによる案内等も行い、来訪者へサイトミュージアムとしての高質空間を提供する。</li> <li>・歴史的な趣のある建築物を修理・改修し、来訪者のまちかど案内所・休憩所として整備する。また、散策する道路沿いの店舗や民家にパンフレットやマップを備え付けてもらい、まちかど案内所として開設する。</li> <li>・歴史観光講座や(仮称)斎王群行サミットを開催し、斎宮を全国にPRする。</li> </ul>	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路：(地)町道 坂本・斎宮線</li> <li>・公園：坂本古墳公園、史跡公園(下園東区画広場)、史跡公園(稗戸広場)、史跡公園(斎宮跡歴史ロマン広場)、史跡公園(御館区画広場)、史跡公園(篠林区画広場)</li> <li>・地域生活基盤施設(情報板)：情報板整備(計画区域内全域)</li> <li>・高質空間形成施設(緑化施設等)：斎宮跡景観形成、散策道整備(柳原区画周辺散策道)</li> </ul> <p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造支援事業：史跡公園維持管理施設等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業(関連社会資本整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路案内標識整備事業</li> </ul> <p>○関連事業(効果促進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斎宮駅史跡公園口整備事業</li> <li>・史跡公園維持管理施設等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡活用調査</li> <li>・伊勢街道歴史的建造物調査</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東部整備事業(柳原区画)(県)</li> <li>・史跡東部整備事業(古代伊勢道)(県)</li> <li>・史跡公園(区画道路東加座中央道)整備事業</li> <li>・史跡公園(区画道路下園・御館道)整備事業</li> <li>・史跡公園(西加座南区画広場)整備公有化事業</li> <li>・斎宮駅史跡公園口整備事業(改札口等)</li> <li>・斎宮跡歴史観光講座事業</li> <li>・まちかど案内所等整備事業</li> <li>・まちかど案内所設置事業</li> <li>・(仮称)斎王群行サミットの開催</li> </ul>
<p>その他</p>	

